



めざせ!! 地域のヒーロー 消防団

問合せ
防災課地域防災係

第5分団 分団長

山田典さん



第5分団を紹介します

私たち第5分団は10～20代の団員（2年生10人、1年生10人の計20人）と40代の正副分団長で構成されています。主に旭地区を活動の拠点とし、日々市民の生命、身体、財産を守る活動をしています。近年では自営業者も少なくなり、団員のほとんどが会社員で日勤夜勤の忙しいなか消防団の訓練に参加してくれています。年間約100日、2年で約200日のあいだに規律や各種災害時において必要な動きについて訓練しています。具体的には、消火訓練、救助資機材などの整備、台風時期の水門閉鎖、冠水地域の見回り、土のうの作り方や積み方、ゴムボートの取扱

い、大規模災害時の救出や搬送、安否確認、応急手当、AEDなど基礎的実践的な訓練を日々行っています。

地域ごとに団員を選出していただいていることもあり、団員は身近にいて、土地勘もあることから、最も火災に有効な初期消火に役立ち、いざというときに自分の家族、近所の人を守ることができます。

地域の防災活動の先頭に立ち、防災意識を高める活動もしています。消防団は災害時に活動できる知識と技術を持つ集団です。地域を愛し守っていきま



ごみ減量係からのお願いとお知らせ

問合せ 環境課ごみ減量係

【燃やすことのできるごみの出し方】

- ・ごみ袋は当日8時30分までに出示してください
前日からごみ袋を出してしまうと、カラスに荒らされる原因となります。また、回収後に出されたごみ袋は回収しません。
- ・ごみ袋はネットのなかに入れてください
5世帯以上集まり、カラスや猫に荒らされる被害が発生している集積箇所には環境課でカラス除けネットを無償貸与します。
- ・生ごみはごみ袋の中央、袋の外から見えない位置に入れてください
生ごみが袋の外から見えると、カラスが袋をつつきます。生ごみは袋の中央部、外から見えない位置に入れてください。ごみが荒らされる被害を軽減できます。
- ・ガムテープは使用しないでください
収集時に手に巻きつき危険です。ガムテープで口を止めてあるごみ袋は回収しません。

- ・生ごみは水を切り、せん定枝や草は乾かしてから出してください

水分を多く含んでいると、収集効率が低下し焼却時にも多くの燃料を消費してしまいます。

- ・資源となるごみを入れないでください

プラスチック、ペットボトル、缶、ビン、ダンボールなどの資源となるごみが入っているごみ袋は回収しません。

【市やクリーンセンター衣浦で回収できないもの】

以下のものは販売店または廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

プロパンガスボンベ、油または塗料の入っている缶、消火器、劇薬、農薬、農機具、オートバイ、タイヤ、バッテリー、テレビ、洗濯機、乾燥機、エアコン、冷蔵庫、冷凍庫、ボウリングの球、耐火金庫、石油製品など

